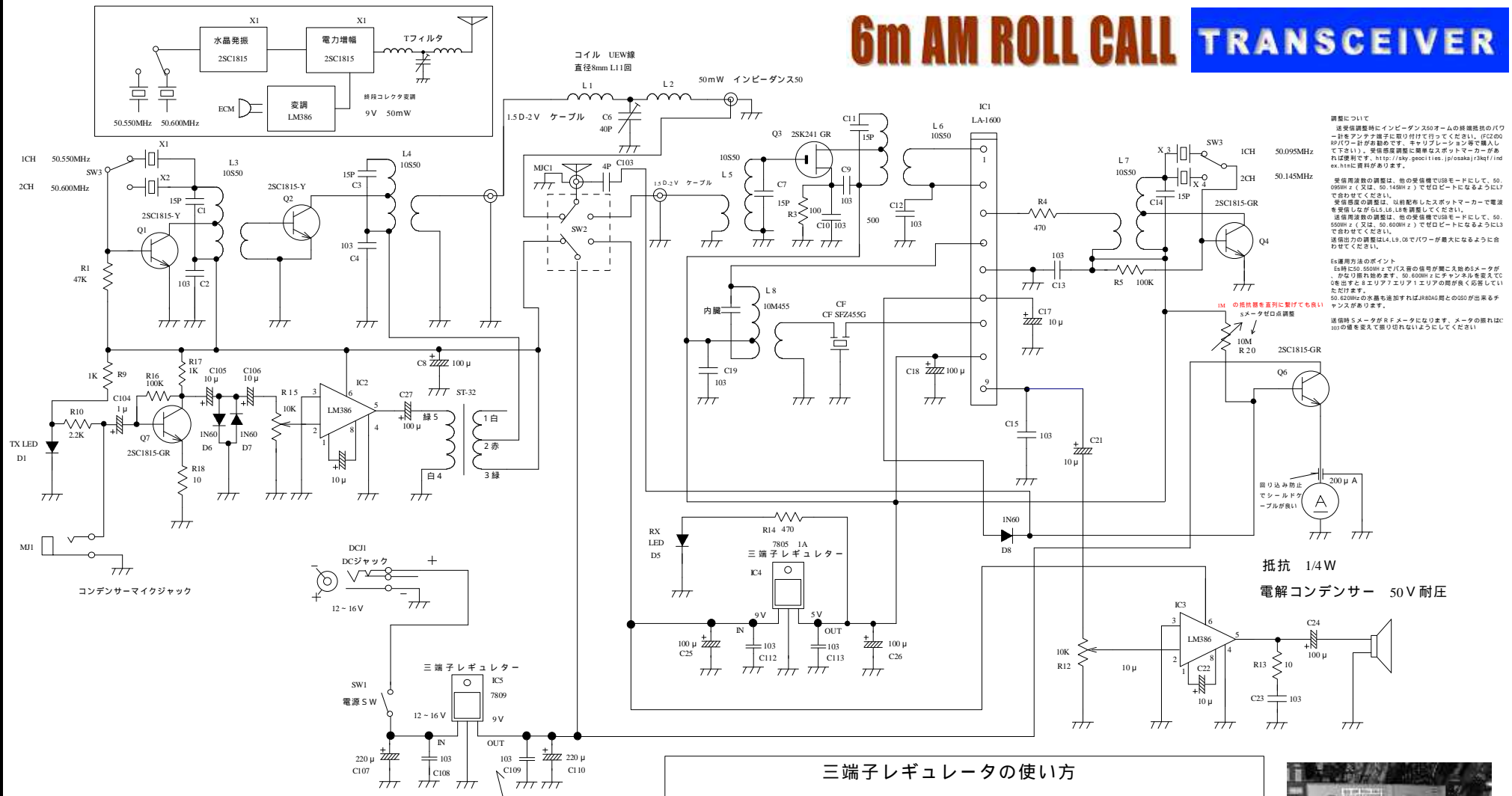


6m AM ROLL CALL TRANSCEIVER



調整について
 送受信調整時にインピーダンス50オームの終端抵抗のパワー抵抗アンテナ端子に取り付けを行ってください。(約200RFパワー計が有効です。キャリブレーション等で購入して下さい)。受信後調整に簡単なスロットメーカーが有効な場合があります。http://sky.speccolite.jp/okaj13hpf/index.htmlに資料があります。

受信周波数の調整は、他の受信機でUSBモードにして、50.095MHz (又は、50.149MHz) でゼロポートになるようにL7で合わせてください。
 受信感度の調整は、以前配線したスロットメーカーで電波を受信しながら50.161.14を調整してください。
 送信周波数の調整は、他の受信機でUSBモードにして、50.550MHz (又は、50.600MHz) でゼロポートになるようにL3で合わせてください。
 送信出力の調整はL4.1.9.06でパワーが最大になるように合わせてください。

E5運用方法のポイント
 E5時は50.550MHzでパス帯の信号が聞こえ始めるメータがなくなり始めます。50.600MHzにチャンネルを変えて出すと8エリア9エリア1エリアの間が良く応答しているはずです。
 50.620MHzの水素も追加すればJ8804Q同士のQSOが出来るチャンスがあります。

送信時メータがRFメータになります。メータの振れはIC10の値を変えて取り除けないようにしてください!

**50MHz AM 2チャンネル
 トランシーバー 50mW**

9Vの三端子レギュレーターを追加しました。これでバッテリー等が消耗して電圧低下しても長時間運用できます。また電圧の一定化で送信周波数の変化も無くなります。

三端子レギュレータの使い方

7809は1A	78M09は0.5A	78N09は0.3A	78L05は0.1A
---------	------------	------------	------------

受信は78L05でも十分です。
 送信は将来のパワーアップ改造対応で1Aが良いです。

